かわさき星空調査

デジタルカメラ を使った調査

観察に適した時間帯

20:02~22:02

19:45~21:45

レンズ焦点距離

40 mm~85 mm

26 mm~52 mm

20 mm~42 mm

表1 交換用レンズ焦点距離

私たちの住んでいる川崎市では、夜空に星はどれくらい見えるのでしょうか? 10年後、そして100年後の未来、街の環境が変われば、星空はどうなるでしょうか? カメラによる撮影で夜空の明るさを調べて、今のかわさきの星空を**未来**に伝えましょう!

調査期間:令和7(2025)年8月14日(木)~8月27日(水)

調査期間

(最終日)8月27日

(初日)8月14日

日没時刻

18:32

18:15

一眼レフカメラ

フルサイズ

APS-C

マイクロフォーサーズ

観察場所:川崎市内どこでも

調査方法:デジタルカメラを使った調査【天頂付近の星空を撮影】

観察時間:日没1時間半後~3時間半後

(右の観察に適した時間帯を参考に)

観察対象: 天頂付近の星空

準備するもの:レンズ交換式のデジタル一眼レフカメラ

(※データがRAW形式で保存できるもの) 交換用レンズ(※焦点距離は表1を参照)

カメラ固定用の三脚

カメラの設定:撮影モードは【M】(マニュアル)を使います。

表2を参考に、事前にカメラの設定をしておきましょう。

※設定方法の変更は、詳しくは各カメラのマニュアルを参照してください。

※分析に使用するため、カメラ内の時計は正確に合わせておきましょう。

表2 カメラの設定

N2 737 7 7 100/C						
	撮影モード	M(マニュアル)	ホワイトバランス	AWB(オート)	F値	2.8~8
	データ保存形式	RAW	フラッシュ	オフ	ISO感度	400~1600
	長秒時ノイズ低減	オン	高感度ノイズ低減	オフ	シャッタースピード	15秒~60秒

観察方法:

- 1. カメラを三脚にセットし、遠くの風景でピントを合わせます。
- 2. カメラを真上(天頂)に向けて、画面の長辺が東西方向(大体で大丈夫です)に向くように調整します。
- 3. 撮影します。

※撮影中に薄雲がかかってしまった場合は、雲が通り過ぎるのを待って撮影しましょう。

- 4. 撮影したデータを確認します。
 - ※星は撮影時間中にも少しずつ位置が移動するため、星がわずかに流れて写ります。
- 5. 下記専用サイト内、【データ投稿フォーム】から撮影したデータと情報を送ります。

かわさき星空調査 https://dcdock.kodan.jp/kawasaki/

送信頂くデータ: ①画像データ(RAW形式)

②撮影場所(フォーム内の地図上に入力して下さい)

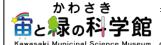
③撮影時のカメラレンズ情報(焦点距離・F値の入力)

データ報告期間:8月14日(木)~9月3日(水)

☆観察方法、撮影方法についてご不明な点がございましたら、科学館天文担当までお問合せください☆

調査結果について:

科学館にて調査研究に利用し、集計した結果をウェブサイトで発表するほか、環境省・星空公団が共同で実施する「星空を見よう『夜空の明るさを測ってみよう』」 キャンペーンにもデータを提供致します。データはすべて個人が特定できない形で発表します。あらかじめご了承ください。



〒214-0032

https://www.nature-kawasaki.jp/

